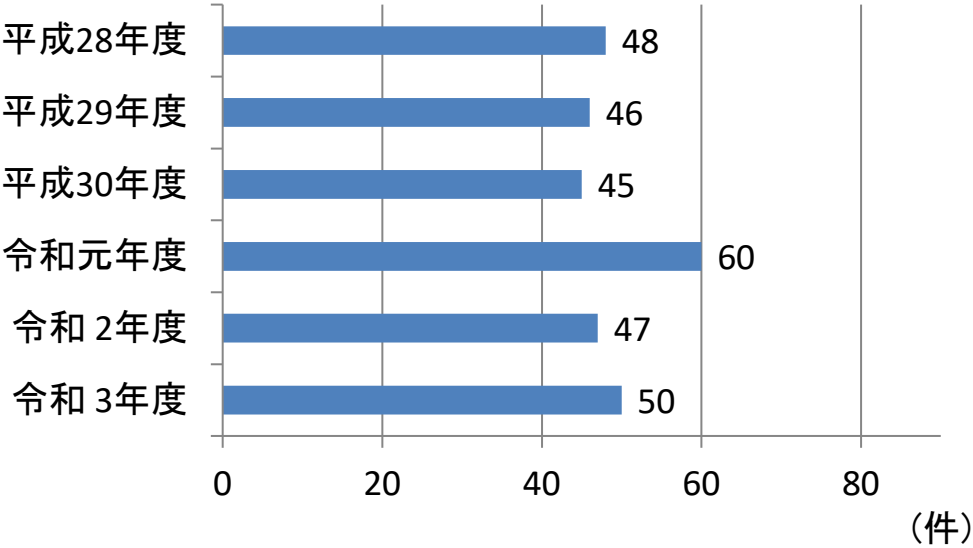


14 超重症児の手術件数

解説	超重症児とは、食事摂取機能の低下や栄養吸収不良などの消化器症状、呼吸機能の低下のために濃密な治療を必要とする小児です。超重症児の手術は健康な小児の手術に比べ、より高度な医療技術と治療体制が必要です。熟練した小児外科医や麻酔科医の配置が必要ですので、小児医療の質の高さを表す指標となります。														
実績	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>手術件数 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	年度	手術件数 (件)	平成28年度	48	平成29年度	46	平成30年度	45	令和元年度	60	令和2年度	47	令和3年度	50
年度	手術件数 (件)														
平成28年度	48														
平成29年度	46														
平成30年度	45														
令和元年度	60														
令和2年度	47														
令和3年度	50														
定義	「A212-1-イ超重症児入院診療加算」及び、「A212-2-イ準重症児入院診療加算」を算定した患者の手術件数(医科診療報酬点数表区分番号K920,K923,K924(輸血関連)以外の手術)です。														